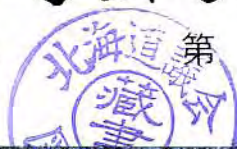
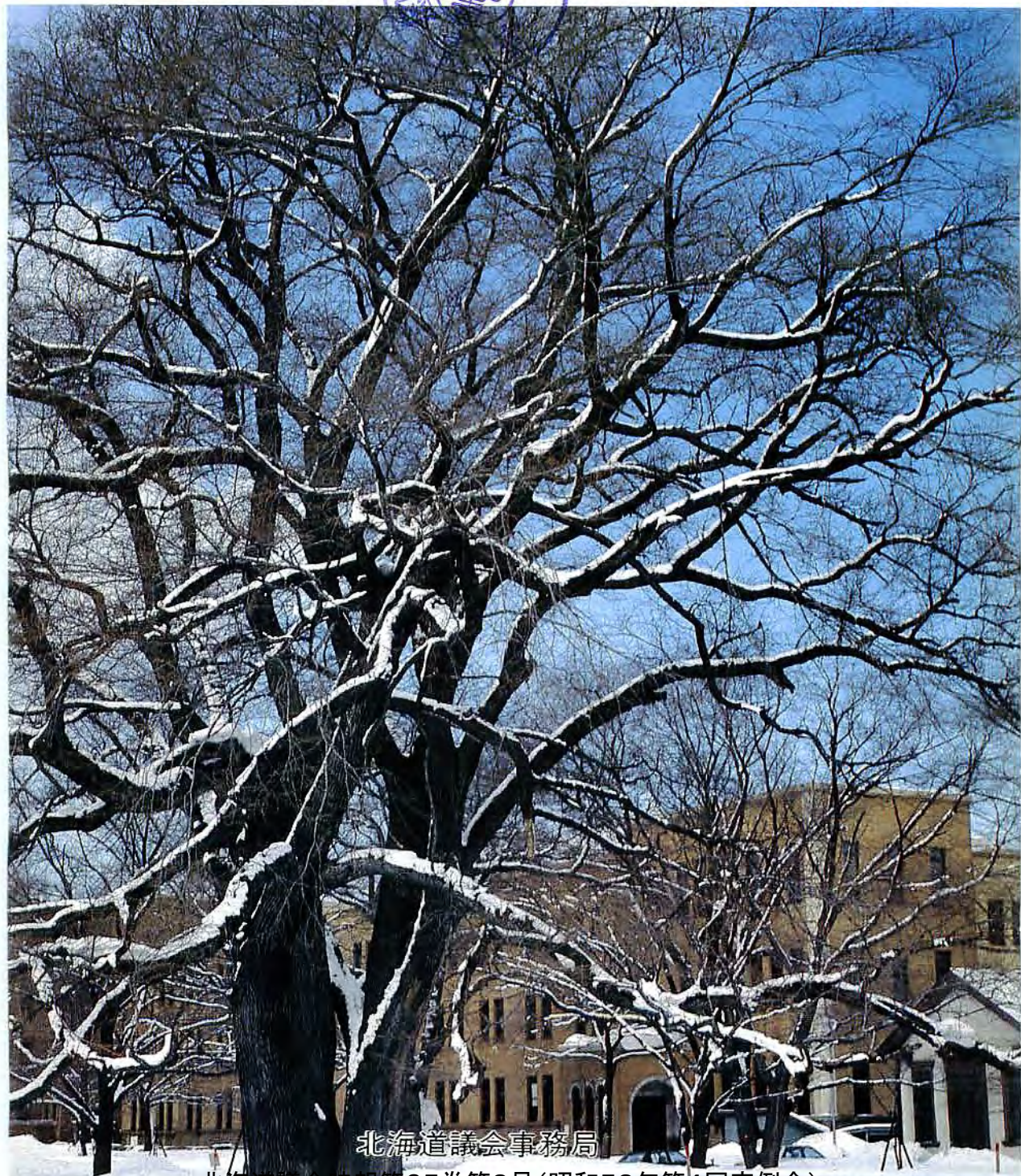


北海道議会時報

昭和58年第7号



第4回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第8号(昭和58年第4回定例会)

(表紙写真説明)

冬の北海道大学構内

第4回定例会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	9
請 願・陳 情	11

委員会 の 動 き

議会運営委員会	13
常 任 委 員 会	16
特 別 委 員 会	20

総合開発調査特別委員会
石炭対策特別委員会
北方領土対策特別委員会
冷害対策特別委員会
予算特別委員会

資 料

第4回定例会において議決を経た 条例の公布調	26
---------------------------	----

12月 の メ モ

議 会 日 誌

▶12月

- 8日(木) 議会運営委員会
- 14日(水) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、冷害対策特別各委員会
- 15日(木) (第4回定例会開会)
議会運営委員会
本会議(会期決定<12日間>、提案説明)
- 20日(火) 議会運営、総務各委員会
本会議(代表質問2人)
- 21日(水) 議会運営委員会
本会議(代表質問2人、一般質問3人)
- 22日(木) 議会運営委員会
本会議(一般質問6人、予算及び決算特別委員会設置)

予算・決算各特別委員会 (正副委員長の互選、予算第1・第2各分科会設置)

予算第1・第2各分科会 (正副委員長の互選)

23日(金) } 予算第1・第2各分科会 (各部所
24日(土) } 管審査)

26日(月) 議会運営、各常任委員会、予算第1分科会(各部所管審査)、予算特別(意見調整)、決算特別委員会

本会議(各委員長報告、補正予算案可決、追加提案説明、公害審査会委員及び収用委員会委員選任同意、請願・陳情審査)

(第4回定例会閉会)

第4回定例会

総額 792 億 3,900 万円余の補正予算可決

概 要

- ① 景気浮揚対策、冷害による被災農家救済対策等に関する補正予算などを審議する**第4回定例会**は、**12月15日招集**され、**会期を12月26日までの12日間と決定**の後、常任委員の委員会所属変更及び特別委員の補欠選任を行い、引き続き、総額629億5,600万円余の**補正予算等31件が上程**され、知事から提案説明の後、教育長から北海道夕張南高等学校火災に関する報告。次に、議案調査のため12月16日から19日まで休会した。
- ② 休会あけの12月20日から**代表質問**に入り、日ソ漁業交渉と選挙応援並びに新穀感謝祭における政教分離などに係る知事の政治姿勢についての答弁をめぐって一時審議が中断したが、同日審議を再開し、翌21日には道職員の給与改定などに係る162億8,200万円余の補正予算などの議案が追加提案され、同日代表質問を終えて、**一般質問**に入り、22日に一般質問を終結。同日、直ちに予算特別委員会及び決算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、12月23日から24日まで2日間休会した。
- ③ **予算特別委員会**は、12月22日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置のうえ、23日から補正予算等に対する各部所管審査に入り、26日にこれを終え、同日、各分科委員長報告の後、意見調整を行った結果、全会一致で原案可決又は承認議決と決定した。
- ④ 本会議最終日の12月26日は、**昭和58年度補正予算等**に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも**原案可決**。
次に、**北海道収用委員会委員等の人事案件2件**が追加提案され、知事から説明の後、いずれも原案のとおり**同意議決**。次いで、報告第2号（昭和57年度各会計歳入歳出決算）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、**開会以来12日目の12月26日午後3時56分閉会**した。
- ⑤ **提出案件の処理状況**は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況					計
		原案可決	同意議決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	43	34	2	1	1	5	43
議 員	—	—	—	—	—	—	—
計	43	34	2	1	1	5	43

本 会 議

○12月15日（木） 午前10時13分開会、三上勇議長、昭和58年第4回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、武部勤議員（自民）及び佐藤静雄議員（自民）から12月2日付け辞職願が提出され、同日これを許可した旨報告。

次に、元議員田刈子政太郎氏の逝去（11月24日）について弔意を表した旨報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今定例会の会期を本日から、12月26日までの12日間と決定。次に、

日程第3 常任委員の委員会所属変更の件を議題とし、中川義雄議員（自民）を農地開発委員会から文教林務委員会に所属変更することについてはかり、異議なく決定。次に、

日程第4 特別委員補欠選任の件を議題とし、青山正男議員（自民）を石炭対策特別委員に選任することについてはかり、異議なく決定。次に、

日程第5 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号を議題とし、知事から提出案件に関する説明の後、教育長から、北海道夕張南高等学校の火災に関する報告。

次いで、議案調査のため12月16日から19日まで休会することに決定して、午前10時29分散会。

○12月20日（火） 午前10時33分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問に入り、**岩田 徳弥議員（自民）**から、

① 知事の政治姿勢に関し、日ソ漁業交渉に係る道政執行の基本的姿勢並びに選挙応援との関係、今後の日ソ漁業交渉に向けての対処策、新穀勤労感謝祭への出席を拒否した理由並びに沖縄・北霊祭の行事のあり方に対する関与の有無

② 当面する財政問題に関し、地域経済の活性化

化対策、新たな財政需要とその財源

③ 59年度予算編成に関し、道財政のフレームについての収支見通し、マイナスシーリング設定による行政水準への影響と対応及び人件費の取り扱い、マイナスシーリングの取り扱いの基本理念、本庁の機構見直しに対する認識及び見直しに伴う節減と事務の効率化

④ 景気対策に関し、今回の国の総合経済対策による公共事業の確保に関する取り組み、本道配分枠確保の見通し、景気対策に取り組むに当たっての所見、現状認識と見通し、59年度北海道開発予算の確保に対する決意

⑤ 農業問題に関し、北方農業のあり方、冷害による本道経済への影響、冷害関連中小商工業者の金融対策、市町村の冷害対策にかかわる財源措置並びに救農土木事業にかかわる財源措置、冷・災害に備えての種子備蓄制度検討の考え、第3期水田利用再編対策に係る減反の支庁別配分の方法と減反緩和が僅少であることへの今後の対応と所見、多用途利用米の支庁別配分の基本的な考え方とその配分時期、道として助成措置を行う考え、てん菜奨励金の具体的内容

⑥ 中小企業対策に関し、業種別倒産やその原因についての把握状況、今までの救済措置、現状を踏まえた今後の対処策、北海道信用保証協会に対する出捐金の増額など信用補完制度の拡充強化の対処方針、保証協会の経営基盤強化のための59年度以降の損失補償についての対処策

⑦ 林業問題に関し、木材の需要拡大対策、保安林の機能維持と質的向上のための優遇措置強化の必要性並びに現状の認識及び対処策、都市周辺の防災保安林の整備促進対策、森林への受益者負担に対する所見

⑧ 漁船漁業の再編整備に関し、道の資源保護対策案に対する底びき・沿岸両業界の意見、対策案の目的・実現の目途、資源保護対策と表裏一体をなす生産体制の再編成についての対応の見通し

⑨ 教育問題に関し、北海道高等学校長期収容対策検討協議会における検討内容、高等学校の長期収容対策における他の都府県の対応状況、対策具体化の今後のスケジュール、中卒

者の減少期における教育の充実に対する見解、道徳教育についての文部省からの通知に示された改善措置の要点並びにそれに対する措置の状況、今回の改善措置により道徳教育が完全に行われるかどうかの見解、本道における道徳教育の実態に対する認識、教育課程編成の是正問題への取り組み方と是正の効果に対する認識等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。岩田徳弥議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。高橋康之議員（自民）から議事進行発言があり、午後零時26分休憩、午後3時17分再開。次いで、**日程第1**の議事を継続し、休憩前の本会議における岩田議員の再質問に対する知事の補足答弁の後、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、反核・平和についての見解、道民の反核市民運動に対する評価など決意と所信
- ② 経済・財政問題に関し、公共事業発注に当たった配慮、「一村一品運動」の道としての役割、「一村一品運動」と地場産業の振興施策との関連、今回の訪欧ミッションの感想並びに労働力の確保とジョイントベンチャーについての対応、59年度の予算編成に当たった政策的観点と道財政の現状
- ③ 職員の給与問題に関し、人勧制度に対する基本認識及び本年度の道職員の給与改定についての考え方、昇給延伸措置の経緯と復元問題についての今後の対処方
- ④ 農業問題に関し、農業共済制度を農業者の意思を反映させ見直しする考え、農家負債に対する現行制度を超えた対策の検討、バイオテクノロジーなど先端技術の取り組みについての考え、道立食品研究所設置についての所見
- ⑤ 医療問題に関し、医師偏在の是正及び道立診療所の医師確保についての具体策、保健婦の養成と偏在是正のための新たな方策検討の考え、看護婦・助産婦の養成と確保についての展望、ボランティア活動の必要性和福祉手当増額に対する所信
- ⑥ 奥尻核燃料再処理工場誘致問題に関し、核燃料再処理問題についての基本的認識、漁業振興対策との関連、誘致運動についての対処

の考え

- ⑦ 行政の文化化に関し、道としての基本理念、公共施設の整備に対する具体的施策の取り組み、市町村との連携の必要性に対する見解
- ⑧ スパイクタイヤ対策に関し、スパイクタイヤの使用自粛運動の位置づけと初年度の効果と将来の方向、地域事情が異なる市町村の意向を反映させる考え、広報活動の具体的施策、大型車についての認識と対処の考え、車粉じんが健康に及ぼす影響の調査実施の考え、粉じん測定のための機器整備等観測体制の強化に対する考え
- ⑨ 青函博覧会に関し、博覧会開催に向けての道の取り組みに対する所信、博覧会の規模・内容についての見解
- ⑩ 教育問題に関し、後期中等教育の保障と公立高校の果すべき役割についての基本認識、市町村立高校の移管基準と市町村の財政負担との関連、道立移管後の市町村の財政負担軽減策、発展計画・教育長期総合計画の目標と道立高校の位置づけ、移管基準緩和についての見解、標準法に合致しない小規模校に対する基本方針等について

質問があり、知事及び教育長から答弁があつて、午後4時37分延会。

○12月21日（水） 午前10時21分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問を継続、木下 一見議員（道政）から、

- ① 知事公約と財政問題に関し、知事公約を予算編成に反映させる考え、59年度の予算編成と公約の融資制度実現との関連、重点施策と財源の配分、長期的な財政運営についての基本的見解及び59年度の予算編成に際しての考え
- ② 景気と雇用問題に関し、本道の景気に対する知事の認識とその対応策、本道の産業構造の体質改善に向けた施策推進の考え、今回の訪欧の目的・効果・今後の方策、雇用情勢の認識と対策、新規高校卒業者の就職事情と対処策並びに本年実績達成の見通しとその対策
- ③ 本庁機構の再編に関し、今回の見直しの方

向と進捗状況並びに現在の検討内容、新たな行政需要に対応した職員の適正配置に対する決意、部局の分離も含めた本庁機構改革の考え

- ④ 教育問題に関し、学校教育の荒廃の状況に対する認識と学校教育のあり方、指導体制を阻害する要因解消のための対策、児童生徒の個性・能力を的確に把握する方法及び学校の経営方針に反映させる必要性和道教委としての指導方法、学校運営の実態を家庭や地域社会へ訴えて協力を求める考え等について
質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、今年度の道財政の収支見通し、明年度予算編成に当たって今年度の公共事業関係予算を繰り越しマイナスシーリングを緩和する考え、本庁の組織機構の見直しを急ぐ理由と見直しの基本的な考え方、本年度の道職員の給与改定に関する人事委員会勧告の取り扱いと公務員のスト権に対する考え
- ② 景気対策に関し、厳しい本道の景気に対する認識と景気の先行き見通し
- ③ 中小企業に対する金融対策に関し、北海道信用保証協会の保証取り扱いに対する対処策、中小企業向け制度融資の融資枠の確保と融資条件の改善に対する見解
- ④ 心身障害者及び高年齢者の雇用問題に関し、厳しい雇用情勢、雇用対策における現状認識と今後の推進策
- ⑤ 農業問題に関し、6月以降の異常気象における農業試験場などの果たした役割と異常気象に対する取り組み等営農技術に対する姿勢、冷災害が続く中での農業後継者の育成確保策、農業基盤整備事業が冷害時に果たした効果と総合的な土地基盤整備の効果を見通した今後の事業推進に対する所見並びに農家経済の現状を踏まえた事業推進の考え
- ⑥ 企業誘致の対応策に関し、企業誘致の課題と今後の対応、北海道人会などを通じた情報収集体制強化の必要性並びに新たな要素を加えた企業誘致体制の強化に対する所見
- ⑦ 観光振興策に関し、本道における航空運賃の引き下げについて関係機関等へ働きかける

考え、通年観光の促進を図るため冬季観光資源をP・Rする考え等について

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により、日程第1の議事を中止。次いで、日程第1に追加し、議案第25号ないし第34号を議題とすることについては、異議なく決定の後、

追加日程 議案第25号ないし第34号を議題とし、知事から提案説明。議事進行の都合により午前11時55分休憩、午後2時35分再開。

日程第1にあわせ、追加日程を一括議題とし、**一般質問**に入り、

出村 勝彦議員（自民）から、

- ① 自然環境保全に関し、ナショナル・トラスト運動に対する基本的な姿勢並びに行政としての対応、自然環境保全地域を59年度に指定する可能性、保全地区の私有地に助成する考え並びに自然環境保全のため土地を買収する必要性とその見解、支庁の生活環境行政の機構を整備する考え、一村一自然運動を行う考え
- ② テクノポリス函館に関し、道が通産省へ提出した開発計画の内容並びに計画実現のめど、4省庁合同ヒヤリングにおける国の意見・指摘事項、函館地域指定が厳しい情勢とそれに対する認識及び対処策、国に対するこれまでの接触の経緯と感触、テクノポリス函館技術振興協会の基金の調達方法・資金運用計画、本道の工業開発を進める上でのテクノポリス函館地域の位置づけ
- ③ 自治体外交に関し、東南アジア諸国の在日大使館を本道へ招聘したことの成果、発展途上国に対する技術協力による国際協力の必要性とその具体的推進策、本道と中国との交流に対する所見、本道派遣の外務公務員に係わる今までの役割と今後の取り組み
- ④ 林業問題に関し、林業の啓蒙・指導に対する現状認識と今後の対処、道立の林業研修機関を設置し指導者・後継者を育成する考え、全国育樹祭を本道で開催するよう国へ働きかける考え等について

質問があり、知事から答弁の後、出村勝彦議員（自民）から再質問があり、知事から答弁。次いで、

高橋 庸議員（社会）から、

- ① 「一村一品運動」に関し、運動の名称検討

の結果と「一村一品運動」を正式名称とする考え、地域の自主性を尊重した運動の進め方、地域のリーダー育成のための方策

- ② 漁船漁業の再編整備に関し、具体的方針を出す時期、減船目標・経営改善の方法などの内容、水産資源保護法の適用を国へ働きかける考え、沿岸漁業の減船に対する道独自の援助措置を制度化する考え、漁業経営安定条例を早期制定する考え、石狩湾の資源保護に対する沿岸側と底びき側の意見の相違についての対処とその時期、規制措置遵守のための取り締り体制、再編整備を進めるうえの決意等について

質問があり、知事から答弁。次に、

小野寺 勇議員（自民）から、

- 人事、服務制度に関し、ストに対する処分及び賃金カットの実態並びに庁舎管理上の問題についての見解、29分ストが賃金カットの対象となっていない実態と勤務時間上から見た妥当性、職員の夏季休暇を廃止することに対する所見、定年制度の条例化に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁の後、小野寺勇議員（自民）から再質問があって、知事から答弁。高橋康之議員（自民）から議事進行発言があり、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時19分休憩、午後5時30分再開し、直ちに延会。

○12月22日（木） 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号、報告第1号及び第2号を議題とし、**一般質問**を継続、知事から昨日の本会議における小野寺勇議員（自民）の再質問に対する補足答弁。次に、

操上 良宏議員（自民）から、

- 農業問題に関し、国の長期見通しに照らした本道主要作目の全国シェアに対する見解、本道農業の位置づけを確立するため国へ働きかける考え、生産性向上のため地域農業の組織化を図る必要性とその施策、水稲共済制度の現実に即した改善の必要性とその受けとめ方と改善方を国へ働きかける考え、飼料作物の多収品種開発への取り組み状況と積極的推進方策、米や野菜などの消費拡大に対する取

り組み、米飯給食の導入に対する考えと今後の取り組み等について

質問があり、知事及び教育長から答弁の後、操上良宏議員（自民）から再質問、知事から答弁。次に、

大野 忠義議員（自民）から、

- ① 道路交通問題に関し、本道の高速道路予定路線の供用の現況と今後の計画並びに建設促進に当たって札幌以外の拠点から整備を図る考え、高速道路建設促進のための専掌課の設置等協力体制の拡充整備に対する考え、高速道路整備促進運動の強化の必要性和その決意、道の代行による市町村道の整備に対する所見、冬期間の円滑な交通確保のため歩道除雪専用車の開発や融雪溝・消雪工の整備に対するこれまでの対処方策並びに今後の取り組み姿勢、モノレール等新交通システムの整備に取り組む考え

- ② 衛生行政に関し、医師の地域偏在是正に対する対処と医師確保のため財団を明年度から発足させる考え、保健婦養成のため道立旭川高等学校に保健婦科を新設する考え、市町村保健センター整備のため道費補助制度を導入する考え、老人保健事業の推進体制、市町村健康づくり推進協議会の活動推進強化策、成人病検診管理指導協議会の調査指導活動の方法、国保会計における医療費の推移と今後の見通し、コンピューターを利用した住民の健康管理システム導入に対する見解、救命救急センターを設立する地域と保健医療基本計画に基づく施設設置計画を改定する考え等について

質問があり、知事から答弁の後、大野忠義議員（自民）から再質問があり知事から答弁。議事進行の都合により午前11時45分休憩、午後2時30分再開。引き続き、日程第1の議事継続。

石川 十四夫議員（道政）から、

- ① 北炭夕張新鉱の再開断念に伴う諸問題に関し、更生計画の内容と法の適用条項、更生担保権に係わる資産の評価額、北炭夕張炭鉱の清算手続に伴う幌内・真谷地両炭鉱への影響、更生債権などに対する弁済資金の確保に対する考え、下請業者の更生債権に対する見通しと対処
- ② 夕張地域の振興に関し、閉山地区中小商工

業者融資と産炭地特別資金制度による融資の延長措置の見通し、メロンプランダーの製造免許認可の見通し、勤労者野外活動施設の建設実現の可能性、夕張市が計画している幸せ会館の建設に対し助成する考え、夕張市の財政事情に対する見解と指導援助に対する考え、離職者対策に対する取り組みの現況と今後の見通し、夕張地域振興に対する積極的対処等について

質問があり、知事から答弁の後、石川十四夫議員（道政）から再質問、知事から答弁。次に、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① 経済政策に関し、これまでの公共事業中心の本道開発に対する考え、本道経済活性化のための施策、訪欧ミッションに係る先端産業の企業誘致に対する見解とその見通し、ベンチャービジネスに対応した研究開発センター・大学など研究開発体制の育成強化を図る考え、初期リスクに係るレンタル工場等の対策、研究・情報の拠点となるベンチャービジネス情報センター創設の見解、国際見本市・国際会議などの都市施設の設置を検討する考え、民間活力導入の実現方策、景気対策として道有施設を計画的に改築する考え
- ② 医療行政と生活環境整備に関し、国立医大の誘致に対する経過を踏えた現状認識と行政の継続性を尊重した立場での見解、がん検診センターの設置時期と場所及び規模等に対する構想、地方腎移植センター設置の時期と場所などの見通し、公共下水道整備事業の普及目標達成の見通しと未着手市町村に対する事業促進の方針、浄化槽整備の適正率が低い実態と保守・維持管理の適正化に対する指導方針
- ③ 水産問題に関し、漁業権の一斉更新に際して資源に見合った生産体制の確立並びに経営者に対する資源の公平な配分に対する基本方針、道東地域の沿岸漁業資源の増大対策に対する今後の基本的方向、水産試験場における加工研究体制の整備を早期実現する考え
- ④ 教育問題に関し、美深・雨竜地区の高等養護学校開校後の明年度の精神薄弱者の就学状況並びに高等部卒業生の職場開拓・現場実習及び卒業後の巡回指導の充実に対する方策、

本道の小中学校における業者テストの実態調の結果とそれに基づく指導通知の内容と期待される効果、文部省からの偏差値重視の進路指導是正に係る通知の内容と道教委として学校へ徹底させる方策、学校における学習の評価や進路指導のあり方に対する見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。次に、

大橋 見議員（共産）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、法律上の手続をとっていない自衛隊の通信線設置に対する措置状況、国道トンネルの手抜き工事に係る指名業者の処分に対する見解
- ② 産業開発問題に関し、小樽運河の埋め立てを見直し検討する考え
- ③ 道民生活に関し、道職員の給与改定に係る今後の人事委員会勧告の取り扱い、制度に基づいた給与勧告が完全実施されないことに対する今後の対処、各種使用料や手数料の値上げ検討の有無、失業・倒産の現状及び教育施設の整備並びに道路舗装など諸課題の来年度予算における位置づけと対策
- ④ 教育問題に関し、中体連・高体連の大会への教員の引率旅費負担に対する対応状況、部活動における教員の引率旅費の実態、生徒指導に係わる生徒の名簿等を警察に提供することに対する基本的見解と対応状況等について質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁の後、大橋見議員（共産）から再質問があり、知事から答弁。次に、

坂下 義議員（無所属）から、

- ① 景気対策に関し、本道の景気回復が遅れている要因と産業構造との関連、特定の業界に偏らない道民全体に対する景気対策、季節労働者の雇用対策、域際収支の赤字解消のための今後の地場産業の振興策
- ② 核廃棄物処理施設誘致に関し、幌延町の誘致運動に対する把握状況と今後の対処策
- ③ 水産の振興対策と水産試験場活動に関し、不振漁協対策、ホタテ貝毒に対する水産試験場など研究機関における取り組み状況、茂辺地川のブナザケ廃棄問題の事実関係とそれに対する見解
- ④ 酪農振興対策と乳価問題に関し、生乳の計

画生産の増産を図る必要性和その対策実施に対する所見、59年度の保証乳価決定に当っての対処方等について

質問があり、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。次いで、

工藤啓二議員（公明）から、予算及び決算に関する案件について、31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第9号、第25号ないし第34号及び報告第1号は予算特別委員会に、報告第2号は決算特別委員会にそれぞれ付託されたいとの動議を提出。賛成があって動議成立、動議のとおり決することに異議なく決定。動議に係わる各案件は、両特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。

次いで、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

遠藤 常二（社会）	相沢 武彦（公明）
生駒 隆介（自民）	岩瀬 正人（自民）
国本 康夫（自民）	高橋 一史（自民）
出村 勝彦（自民）	増井貞一郎（自民）
木下 一見（道政）	大島 一郎（社会）
大平 盛雄（社会）	菊地 芳郎（社会）
三沢 道男（社会）	樫林 巖（社会）
木本 由孝（自民）	桜井 外治（自民）
中川 義雄（自民）	久田 恭弘（自民）
水岡 薫（自民）	山口 真人（自民）
吉川 貴盛（自民）	石山 直行（自民）
佐々木利昭（自民）	高木 繁光（自民）
石川十四夫（道政）	柳谷 正一（公明）
関根 建二（社会）	長岡 寅雄（社会）
輪島 幸雄（社会）	岩崎 守男（社会）
笹浪 幸男（自民）	

○決算特別委員（27人）

遠藤 常二（社会）	大野 新生（道政）
生駒 隆介（自民）	岩瀬 正人（自民）
大野 忠義（自民）	平井 進（自民）
綿貫 健輔（自民）	伊藤 武一（公明）
大島 一郎（社会）	菊地 芳郎（社会）
高橋 庸（社会）	樫林 巖（社会）
青山 章（自民）	橋 浪蔵（自民）

久田 恭弘（自民）	水岡 薫（自民）
吉川 貴盛（自民）	伊藤 豪（自民）
高木 繁光（自民）	寺崎 政朝（自民）
小野 秀夫（道政）	柳谷 正一（公明）
萩上 元春（社会）	渋谷 澄夫（社会）
藤井 虎雄（社会）	宇野 眞平（自民）
大平 秀雄（自民）	

次に、各委員会付託議案審査のため、12月23日から12月24日まで休会することに決定して、午後4時52分散会。

○12月26日（月） 午後3時31分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第1号を議題とし、岩崎守男 予算特別委員長（社会）から議案第1号ないし第9号、第25号ないし第34号及び報告第1号について、古川靖晃建設委員長（自民）から議案第10号、第13号、第14号及び第24号について、湯本芳志商工労働委員長（社会）から議案第11号について、岩田徳弥文教林務委員長（自民）から議案第12号、第18号ないし第22号について、川口常人総務委員長（自民）から議案第15号ないし第17号及び第23号について、それぞれ各委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、大橋晃議員（共産）から議案第1号、第6号、第10号、第13号、第14号及び第25号ないし第34号に関する反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、まず、日程第1のうち、議案第1号、第6号、第10号、第13号、第14号及び第25号ないし第34号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおりいずれも原案可決。次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第5号、第7号ないし第9号、第11号、第12号、第15号ないし第24号及び報告第1号を問題とし、いずれも委員長報告のとおり原案可決又は承認議決。次に、

日程第2 議案第35号及び第36号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略のうえ、議案第36号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決、次に議案第35号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。次いで、

閉会中報告第2号継続審査の件について、決

算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することに異議なく決定して、今定例会に付議された案件は、報告第2号を除きすべて議了。三上勇議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後3時56分閉会。

第4回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 15	1	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第4号）	予算特別	12. 26	原案可決
同	2	昭和58年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	3	昭和58年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4	昭和58年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	5	昭和58年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	6	昭和58年度北海道公共下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	7	昭和58年度北海道病院事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	8	昭和58年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	9	昭和58年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	10	北海道公共下水道事業特別会計条例案	建設	同	同
同	11	北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	12	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	13	都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建設	同	同
同	14	北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件	同	同	同
同	15	財産の取得（北海道日高支庁建設用地）に関する件	総務	同	同
同	16	財産の取得（北海道胆振支庁別館（仮称）用）に関する件	同	同	同
同	17	財産の取得（北海道警察北見方面本部交通課北見運転免許試験場建設用地）に関する件	同	同	同
同	18	財産の取得（北海道苫小牧工業高等学校用地）に関する件	文教林務	同	同
同	19	財産の取得（北海道石狩地区高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	20	財産の取得（北海道平取養護学校白鳥学園分校建設用地）に関する件	同	同	同
同	21	財産の取得（北海道留辺蘂高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	22	財産の取得（北海道立林産試験場建設用地）に関する件	同	同	同
同	23	財産の処分（土地、苫小牧市末広町3丁目5番1）に関する件	総務	同	同
同	24	土地所有権確認等請求事件における和解の件	建設	同	同
12. 21	25	昭和58年度北海道一般会計補正予算（第5号）	予算特別	同	同
同	26	昭和58年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	27	昭和58年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	28	昭和58年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	29	昭和58年度北海道病院事業会計補正予算（第4号）	同	同	同
同	30	昭和58年度北海道有林野事業会計補正予算（第3号）	同	同	同
同	31	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 21	32	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	12. 26	原案可決
同	33	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	34	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
12. 26	35	北海道収用委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	36	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
12. 15	1	専決処分報告につき承認を求める件（昭和58年度補正予算、11月29日専決処分報告）	予算特別	12. 26	承認議決
同	2	昭和57年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	同	継続審査
同	3	昭和57年度北海道継続費精算報告の件			報告のみ
同	4	昭和57年度北海道市町村振興基金の運用に関する件			同
同	5	昭和57年度北海道土地開発基金の運用に関する件			同
同	6	専決処分報告の件（村を町とする処分に伴う関係条例の整備に関する条例、11月26日専決処分）			同
同	7	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、11月21日1件、11月28日1件、12月1日3件専決処分）			同

請 願 ・ 陳 情

① 第4回定例会において各常任委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
23	(仮称)「雨竜地区高等養護学校」の収容定員等に関する件	空知生活と健康を守る会滝川支部障害児をもつ母親部会 代表 宮本 三代子	文教林務	継続審査
24	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育の豊かな発展をはかるための大幅私学助成を求める件	北海道私学助成をすすめる会 代表 亀貝一義ほか1人	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審査の 結 果
9	軍人・軍属恩給欠格者の早期救済に関する件	全国軍人軍属恩給欠格者連盟 北海道連合会 代表 渡部 輝久	厚生	継続審査
10	一級河川十勝川水系札内川第二札内橋架橋促進に関する件	中川郡幕別町本町第二札内橋架橋促進 幕別町期成会長 斉藤 正美	建設	同

② 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
5	北海道を核戦場にさせないための件	総 務
12	登別市に警察署設置の件	同
14	平和に関する件	同
21	個人事業税に「みなし法人課税（事業主報酬）制度」の適用に関する件	同
22	「非核・平和北海道宣言」を求める件	同
4	食品添加物の使用規則を強化し、消費者本位の食品衛生行政を求める件	厚生
6	老人医療に関する諸施策の拡充を求める件	同
9	灯油元売価格の値下げなどを求める件	同
11	食品添加物の規則緩和に反対する件	同
15	老人医療と諸施策の拡充を求める件	同
16	老人医療に関する件	同
18	灯油値下げに関する件	同
20	国立病院・療養所の廃止や地方移管・民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の大幅増員を求める件	同
8	灯油元売価格の値下げなどを求める件	商工労働
17	灯油値下げに関する件	同
13	本道水田等農家の抜本的負債対策を実現し、冷害対策強化に関する件	農 務

文書表 番 号	件 名	付託委員会
2	北海道立札幌中島体育センター別館を早期改修し弓道専用道場の併設を求める件	文教林務
3	北海道立武道館の建設を促進し専用弓道場の併設を求める件	同
7	子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	同
19	公立高校の増設等に関する件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	「大型間接税導入と申告納税制度の改正に反対し、3兆円減税を要求する意見書」決議の件	総 務
7	指名競争入札執行の自粛の件	同
2	社会福祉法人釧路まりも学園の運営に関する件	厚 生
4	医療保険制度の改悪に反対し、住民の健康を守る決議に関する件	同
5	老人医療の無料制度を復活・拡充し、老人を医療から締め出す老人診療報酬体系等の即時撤廃を求める決議に関する件	同
3	サラ金利用者のサラ金苦による悲劇の根絶及び住民保護に関する件	商工労働

委員会の動き

議会運営委員会

○12月8日（木） 午後1時5分、議会運営委員会室において開議、午後1時10分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 委員長から、元道議会議員田刈子政太郎氏（土別市選出、第18期～第21期）の逝去（11月24日）について報告。
- ② 議員の辞職許可について、武部勤議員（自民）及び佐藤静雄議員（自民）から、12月2日、議長に議員辞職願の提出があり、同日付けて議長が許可したことを報告。
- ③ 各派所属議員数は、自民59人、社会33人、道政8人、公明6人、共産1人、無所属1人、欠員2人となったことを報告。
- ④ 議席について、武部勤議員、佐藤静雄議員の辞職に伴う議席は空席とすることをはかり決定。
- ⑤ 第4回定例会の招集期日を12月15日とすることを了承。会期は12日間とすることに決定。
- ⑥ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑦ 第4回定例会の日程について、次のとおり取り進めることに決定。

▽ 第4回定例会日程

12月15日	本会議（提案説明）
16日～19日	休 会
20日	本会議（代表質問）
21日	本会議（代表・一般質問）
22日	本会議（一般質問、予算・決算特別委員会設置）
23日～25日	休 会
26日	本会議

- ⑧ 代表質問について、順位は、自民、社会、道政、公明の順とすることを了承。通告は、12月17日正午までとすることを了承。
- ⑨ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、10番目は公明となるこ

とを了承。諸派の順位は、輪番制とする申し合せであり、今回は共産、無所属の順となることを了承。通告は、12月19日正午までとすることを了承。

○12月14日（水） 午後2時14分、議会運営委員会室において開議、午後2時20分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。教育長の夕張南高校の火災に関する報告の件は、明日の本会議において知事の提案説明の後、行うことをはかり決定。
- ② 常任委員会委員の委員会所属変更について、中川義雄農地開発委員（自民）から、議長に対し文教林務委員会委員に所属変更の申し出があり、明日の本会議において申し出のとおり所属変更することをはかり決定。
- ③ 特別委員会委員の補欠選任について、武部勤議員（自民）の辞職に伴う石炭対策特別委員会委員1名の欠員については補充すること及び自民から推せんすることとし、自民の推せんのとおり、明日の本会議において青山正男議員（自民）を石炭対策特別委員会委員に補欠選任することをはかり決定。
- ④ 予算及び決算特別委員会について、(1)委員会構成及び正副委員長の配分については配付のとおりとすること。(2)委員名簿は、12月20日正午まで提出すること。(3)委員会設置動議の提出は、公明からとすることを決定。
- ⑤ 議案調査のため、12月16日から12月19日まで休会し、12月20日再開することを決定。
- ⑥ 12月15日の本会議の議事順序については、明日協議することを決定。

○12月15日（木） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 平野 明彦（自民）

- ① 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

議員の辞職許可報告

元議員の逝去報告

日程第2 会期決定の件（12月15日から12月26日まで12日間）

日程第3 常任委員の委員会所属変更の件
農地開発委員中川義雄君を申し出のとおり文教林務委員に所属変更することについて簡易採決

日程第4 特別委員補欠選任の件
欠員中の石炭対策特別委員に青山正男君を補欠選任することについて簡易採決

日程第5 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号
提出議案に関する知事の説明
北海道夕張南高等学校の火災に関する教育長の報告
議案調査のための休会日の決定
（12月16日から12月19日まで）

○12月20日（火） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後3時7分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、職員の給与改定などにかかる給与費関係議案を明21日追加提案する旨を説明。
- ② 代表質問の通告（4人）について報告。本日3人、明日1人とすることに決定。
- ③ 一般質問の通告（12人）について報告。順位は12月8日の委員会決定のとおり従前の例によることとし、各派内における順位等に変更ないことを確認。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることに決定。進め方については、21日代表質問終了後5人、22日7人とすることに決定。
- ④ 委員長から、川口常人総務委員長（自民）が鹿部町町制施行記念式典出席のため、本日の本会議を欠席する旨を報告。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時50分休憩、午後3時5分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問（代表質問3人）

休憩前の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査の結果、知事から補足答弁を行いたい旨発言の後、本会議は岩田議員の再質問に対する知事の補足答弁から入ることを決定。

○12月21日（水） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後5時23分散会
委員長 平野 明彦（自民）

- ① 総務部長から、追加提出議案（10件）について説明の後、本日の本会議において代表質問終了後、追加日程として知事の提案説明を行うことに決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ③ 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問5人行うことを了承。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時50分休憩、午後5時22分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第24号、報告第1号及び第2号
質疑並びに一般質問（代表質問2人）

◎日程第1の議事中止

追加日程 議案第25号ないし第34号
追加提出議案に関する知事の説明

◎日程第1にあわせ、追加日程を一括議題として議事継続（一般質問5人）

- ⑤ 総務部長から、休憩前の本会議における小野寺勇議員（自民）の再質問に対する知事の答弁準備になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会す

ることに決定。

○12月22日（木） 午前9時51分、議会運営委員会室において開議、午前9時55分散会

委員長 平野 明彦（自民）

① 昨日の本会議における高橋康之議員（自民）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、小野寺勇議員（自民）の再質問に対する知事の補足答弁を行いたい旨発言があり、本日の本会議は知事の補足答弁から入ることをはかり決定。

② 一般質問の通告内容等の変更について了承。

③ 予算特別委員会各会派別分科委員数について、各会派間の調整の結果配付のとおり決定した旨報告。

④ 予算及び決算特別委員会について、委員の選任は配付の名簿のとおり選任すること、設置動議は工藤啓二議員（公明）に提出願うことを了承。

⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。

⑥ 各委員会付託議案審査のため、12月23日から24日まで休会し、12月26日再開することをはかり決定。

⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号、報告第1号及び第2号

質疑並びに一般質問（一般質問7人）

（質疑終結宣告）

○予算及び決算特別委員会設置

○予算及び決算特別委員の選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定（12月23日～12月24日）

○12月26日（月） 午後2時40分、議会運営委員会室において開議、午後2時42分散会

委員長 平野 明彦（自民）

① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。

② 委員長から、決算特別委員会に付託の報告第2号について、本日の委員会において継続審査の申し出をすることに決定した旨報告。

③ 総務部長から、追加提出議案の説明があり、本日の本会議において議決する扱いとすることをはかり決定。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第34号及び報告第1号

予算特別、建設、商工労働、文教林務、総務各委員長の報告

（討論）

1. 大橋晃議員の議案第1号、第6号、第10号、第13号、第14号及び第25号ないし第34号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 議案第1号、第6号、第10号、第13号、第14号及び第25号ないし第34号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

2. 議案第2号ないし第5号、第7号ないし第9号、第11号、第12号、第15号ないし第24及び報告第1号を問題とし、委員長報告（議案はすべて可決、報告は承認議決）のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第35号及び第36号

追加提出議案に関する知事の説明

（委員会付託省略）

（採決）

1. 議案第36号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて起立により採決（共産反対）

2. 議案第35号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて簡易

採決

○閉会中継続審査の件

決算特別委員長から報告第2号について、申し出のとおり閉会中の継続審査に付することについて簡易採決

○閉会中請願陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決

○議長の閉会あいさつ

○閉会宣告

常任委員会

総務委員会

○12月14日（水） 午後1時15分、第5委員会室
において開議、午後1時26分
散会

委員長 川口 常人（自民）

一般議事

- ① 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、鹿部町の町制施行記念式典への出席についてはかり異議なく決定。派遣委員は、委員長及び副委員長とすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、歳末取締り状況の視察、激励の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○12月20日（火） 午後1時48分、第5委員会室
において開議、午後1時51分
散会、委員長事故のため

副委員長 関根建二（社会）

一般議事

- 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。

○12月26日（月） 午後1時46分、第5委員会室
において開議、午後1時52分
散会

委員長 川口 常人（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第15号ないし第17号（いずれも財産の取得に関する件）を順次議題とし、総務部長、警察本部総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第23号（財産の処分に関する件）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任

することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

厚 生 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時13分、第9委員会室
において開議、午後1時30分
散会
委員長 星野 健三（社会）

- 開議に先だち、委員長から、佐藤 静雄 委員（自民）が12月2日付けで議員を辞職した旨を報告。

一 般 議 事

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ② 任期満了に伴う北海道児童福祉審議会委員の選任について、笠島保委員（社会）及び生駒隆介委員（自民）を推せんすることに異議なく決定。
- ③ 委員長から、さきに実施した泰東丸の確認調査と遺骨収集及び医療保険制度改正案に関する中央折衝の概要について報告。異議なく了承。
- ④ 委員長から、さきに実施した沖縄戦没者慰霊祭参列について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑥ 伊藤豪委員（自民）から、千歳市内の特殊浴場問題に関し、その後の経過・措置状況、強力な指導方について
質疑及び要望があり衛生部長から答弁。

○12月26日（月） 午後1時41分、第9委員会室
において開議、午後1時43分
散会。

委員長 星野 健三（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定、実施時期等については、委員長に一任することとした。

商 工 労 働 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時17分、第8委員会室
において開議、午後1時32分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から「テクノポリス函館」地域開発計画の承認申請について説明。
- ③ 商工観光部長及び労働部長から第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月26日（月） 午後1時57分、第8委員会室
において開議、午後1時59分
散会
委員長 湯本 芳志（社会）

付託案件の審査

- 議案第11号（北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例案）を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

農 務 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時8分、第7委員会室
において開議、午後1時50分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- ① 農務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農務部長から、水田利用再編第三期対策について報告。
- ③ 農務部長から、昭和58年度道営競馬の成績等について報告。
- ④ 青山章委員（自民）から、マスコミ報道された 南羊蹄地区の 補助金対象畜舎の 違反事実、当該事業の計画と現況、1戸当たりの借入金、事業参加農家に対する経営改善対策の方策等
（関連して、三沢道男委員（社会）から、農協の経営不振の対応策、吉野之雄委員（社会）から、畜産基地建設事業の施設規模の適否、計画に対しての事業費規模の妥当性等について）
質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

○12月26日（月） 午後1時46分、第7委員会室
において開議、午後1時48分
散会
委員長 寺崎 政朝（自民）

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり異議なく決定。

建 設 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時36分、第4委員会室
において開議、午後1時50分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

一 般 議 事

- 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月26日（月） 午後1時40分、第4委員会室
において開議、午後1時48分
散会
委員長 古川 靖晃（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第10号（北海道公共下水道事業特別会計条例案）及び議案第13号（都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を順次議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第14号（北海道道の路線の認定、廃止及び変更に関する件）及び議案第24号（土地所有権確認等請求事件における和解の件）を順次議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

農 地 開 発 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時8分、第3委員会室
において開議、午後1時17分
散会
委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内における農業基盤整備事業の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

○12月26日（月） 午後1時45分、第3委員会室
において開議、午後1時47分

散会

委員長 中川 隆之（道政）

一 般 議 事

- ① 委員長から、委員の所属変更に伴う議席についてはかり、現在着席のとおりとすることに異議なく決定。
- ② 委員長から、中川義雄委員（自民）の理事辞任（文教林務委員会への所属変更）に伴う理事の選任についてはかり、異議なく青山正男委員（自民）を選任。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

水 産 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時52分、第6委員会室
において開議、午後2時4分
散会

委員長 中崎 昭一（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内における水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 高橋康之委員（自民）から、ホタテ貝毒問題に関し、毒性値の加工向け原料貝の出荷基準の緩和、指定工場等の問題についての道の対応、出荷再開の時期について
質疑があり、水産部長から答弁。

○12月26日（月） 午後1時40分、第6委員会室
において開議、午後1時48分
散会

委員長 中崎 昭一（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、日ソ漁業交渉の結果について報告。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

文 教 林 務 委 員 会

○12月14日（水） 午後1時16分、第10委員会室
において開議、午後1時31分
散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

開議に先立ち、委員長から、武部 勤 委員（自民）が12月2日付けで議員を辞職した旨を報告。

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した道内の文教事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 教育長から、夕張南高等学校の火災について報告。

○12月26日（月） 午後1時44分、第10委員会室
において開議、午後1時50分
散会

委員長 岩田 徳弥（自民）

開議に先立ち、委員長から12月15日の本会議において、中川義雄委員（自民）が文教林務委員に所属変更になった旨を報告。

付託案件の審査

- ① 議案第12号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第18号ないし第22号（いずれも財産の取得に関する件）を議題とし、教育長及び林務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 委員長から、議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、

り、異議なく決定。

- ③ 委員長から、昭和59年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○12月14日（水） 午後2時32分、第1委員会室
において開議、午後2時34分
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 開発調整部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した他府県における開発事情調査の概要について報告により報告、異議なく了承。

石炭対策特別委員会

○12月14日（水） 午後2時25分、第11委員会室
において開議、午後2時29分
散会

委員長 伊藤 豪（自民）

- ① 委員長から、武部勤委員（自民）が12月2日付けで議員を辞職した旨を報告。
- ② 委員長から、さきに実施した石炭鉱業振興状況把握のための道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 商工観光部長から、昭和58年度基準炭価について報告。

北方領土対策特別委員会

○12月14日（水） 午後2時22分、第3委員会室
において開議、午後2時33分
散会

委員長 野村 權作（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した「北方領土返還要求のつどい」出席及び他府県議会に対する決議要請等の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、さきに実施した北方領土返還促進国連派遣使節団の活動状況について

報告。

- ③ 領対本部長から、北方領土返還要求中央要請並びに国会請願の実施について説明の後、委員長から、本件に関する委員の派遣についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

冷害対策特別委員会

○12月14日（水） 午後2時51分、第1委員会室
において開議、午後3時14分
散会
委員長 大平 秀雄（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した冷害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、冷害による農作物被害状況について報告。
- ③ 総務部長、農務部長、商工観光部長及び教育庁管理部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 農務部長、総務部長、商工観光部長及び教育庁管理部長から、昭和58年冷害に係る対策措置状況について報告。
- ⑤ 三沢道男委員（社会）から、飼料（ビートパルプ）の確保、価格問題における適正な流通指導について
質疑があり、農務部長から答弁。
- ⑥ 委員長から、冷害対策に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

予 算 特 別 委 員 会

○12月22日（木） 午後5時3分、第1委員会室
において開議、午後5時14分
散会
委員長 岩崎 守男（社会）

正副委員長の互選

- ① 岩瀬正人臨時委員長（自民）から、委員長

互選の方法についてははかり、山口 真人 委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって岩崎守男委員（社会）を委員長に選出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、輪島幸雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって桜井外治委員（自民）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後5時9分休憩、午後5時10分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり異議なく決定。

- ④ 分科会の委員の選任についてははかり、配付の委員名簿のとおり選任することに異議なく決定。

○第1分科委員（15人）

国本 康夫（自民）	出村 勝彦（自民）
増井貞一郎（自民）	菊地 芳郎（社会）
三沢 道男（社会）	檉林 巖（社会）
久田 恭弘（自民）	水岡 薫（自民）
吉川 貴盛（自民）	石山 直行（自民）
石川十四夫（道政）	柳谷 正一（公明）
長岡 寅雄（社会）	輪島 幸雄（社会）
笹浪 幸男（自民）	

○第2分科委員（15人）

遠藤 常二（社会）	相沢 武彦（公明）
生駒 隆介（自民）	岩瀬 正人（自民）
高橋 一史（自民）	木下 一見（道政）
大島 一郎（社会）	大平 盛雄（社会）
木本 由孝（自民）	桜井 外治（自民）
中川 義雄（自民）	山口 真人（自民）
佐々木利昭（自民）	高木 繁光（自民）
関根 建二（社会）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については委員長においてその都度指名することについてはかり、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることについて決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営すること及び正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第 1 分 科 会

○12月22日（木） 午後5時16分、第1委員会室
において開議、午後5時24分
散会
第1分科委員長
輪島 幸雄（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に輪島幸雄委員（社会）、分科副委員長に吉川貴盛委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営方法について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、久田恭弘委員（自民）、菊地芳郎委員（社会）、石川十四夫委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○12月23日（金） 午前11時2分、第1委員会室
において開議、午後3時54分
散会
第1分科委員長
輪島 幸雄（社会）

① 民生部所管に対する質疑に入り、

水岡 薫委員（自民）から、

- (1) 社会福祉関係予算に関し、福祉関係予算をマイナスシーリングの対象から除外する考え、福祉水準を維持する対応策、58年度中に整備を進めている保育所等社会福祉施設の計画について、マイナスシーリングの中での明年度の福祉施設確保の具体策
- (2) 社会福祉施設職員の研修に関し、体系的研修開始の時期、方法、運営等に対する見解、59年度に向けての研修体制の強化策、委託研修の実施状況、道社協に補助しているセミナー事業の実績、セミナー研修の重要性和マイナスシーリング状況下での決意
- (3) 痴呆性老人対策に関し、本年新たに実施した痴呆性老人対策の内容、保護費の加算事業をスタートさせた市町村と短期保護対象者の措置、居室整備の実施状況、短期保護事業の取り組み姿勢等について

質疑があり、民生部長から答弁があって民生部所管に対する質疑を終結。

② 衛生部所管に対する質疑に入り、

国本 康夫委員（自民）から、

- (1) 公衆浴場の問題に関し、道内における公衆浴場の現状、町村における公衆浴場の減少率及び施設数、入浴料金決定の手順、入浴料金審議における施設選定の方法、公衆浴場対策の基本的考えと具体策、施設改善資金利子補給事業の内容と交付要綱の改正の考え、老人無料開放促進事業の今後の見通し及びコミュニティ銭湯としての位置づけについて検討方
- (2) 医療用血液の確保対策に関し、本年の道内の献血状況と良血の確保対策、血液不足に対する献血運動の推進方策と移動採血車の増等の考え、採血量の上限を400mlとすることとした経過と理由、献血者の不安解消に対する見解、血液事業を進めて行く上での将来展望、道献血推進協議会に対す

る補助金の増額について

相沢 武彦委員（公明）から、

使用済み乾電池の処理に関し、道内における使用済み乾電池の排出状況とその処理状況、使用済み乾電池が埋却や焼却されたことによる直接、間接的な環境汚染についての認識、道主婦同盟からの申し入れ書に対する理解、使用済み乾電池を有害廃棄物に指定して別途収集する考え、イトムカ鉱業所を利用して処理する考え、厚生省の方針に対する考え、安全対策について国への提言等道の安全対策に関する見解等について

質疑、要望があり衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

③ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

大平 盛雄委員（社会）から、

文部省の新長期高等教育整備計画に関し、昭和61年度以降の高等教育の計画的整備という中間報告に対する道の受けとめ方と特徴点、中間報告に対する道の意見、昭和55年にまとめた高等教育機関の段階的拡充整備の方針は医科大学、複合大学及び芸術大学の三つが第1ランクとされていたが今回の知事意見書での見直しの考え、情報工学及び外国語系複合大学と苫小牧地域との関連、外国語系ということで標榜して誘致運動をしている苫小牧市以外の状況について

質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁があって開発調整部及び企業局所管に対する質疑を終結。

○12月24日（土） 午前10時22分、第1委員会室
において開議、午後零時19分
散会

第1分科委員長

輪島 幸雄（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

増井 貞一郎委員（自民）から、

危険動物飼養条例に関し、条例制定の趣旨と経緯、条例施行後の道内の危険動物飼養状況及び人身事故の有無、条例の施行に伴う権限委譲の実態と一部権限を本庁に残した理由と基準及び特殊なものを除き支庁長に権限を委任する考え、イノシシを危険動物に指定した理由及びイノシシによる人身事故の事例、

白糠町におけるイノシシ人工飼養の実態把握状況、イノシシの特性に対する認識と飼養施設構造の妥当性、条例の指定から除外する考え、条例改正までの間、事務手続を簡素化する考えについて

吉川 貴盛委員（自民）から、

64年の国体開催に関し、競技施設の整備状況と財政援助措置の具体的考え、函館市の水泳競技施設など多額の費用を要するものに対する助成対策の考え、62年全国高校総体と国体との関連、道内にその施設がない水球・飛び込みプール整備計画の進行状況、競技開催予定中いまだ未選定地の山岳、ライフル射撃、クレー射撃の競技に対する今後の見通しについて

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

② 公安委員会所管に対する質疑に入り、

出村 勝彦委員（自民）から、

暴力団の取締りに関し、道内暴力団の実態と取締りの方針、武器に対する道警の取締りと最近における暴力団の動向、暴力団同志の対立抗争防止の対策、拳銃などの凶器を国内及び道内に持ち込ませないための取組み、暴力団壊滅に向けての基本方針と道警本部長の決意について

久田 恭弘委員（自民）から、

(1) 交通管制センターの設置に関し、交通管制センター設置の状況とその機能、釧路市における設置計画の基本的考え、帯広市・小樽市等の地方都市において集線情報センターを設置する考えについて

(2) 警察施設の整備に関し、道警察が維持管理している施設の種類、警察署の整備状況と全国との対比、木造等整備を要する警察署が多いなかでの整備の基本的考え、警察署の過去5年間の整備状況及び56年以降景気浮揚対策での増改築の事業内容、駐在所の床面積を拡大する考え、警察署等を地域の町並みに調和した建物とすることに対しての見解について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長、刑事部長、交通部長から答弁があって、公安委員会及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

○12月26日（月） 午前10時7分、第1委員会室
において開議、午後10時41分
閉会

第1分科委員長

輪島 幸雄（社会）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、大橋晃議員（共産）の本
分科会への出席及び総務部所管に対する発言
の申し出について許可することをはかり、異
議なく決定の後、

大橋 晃議員（共産）から、

私学の助成問題に関し、58年度の私立高校
納付金値上げの実態と原因、公立高校と私立
高校の格差の実態、道私学教組のアンケート
調査による父母負担増加の生活実態の認識、
知事選挙公約の中での公私間格差解消の総合
的な検討の実施状況、私学助成が管理運営費
という形で80億円計上されている状況と授業
料などの値上げ抑制に果たした効果、道が私
学助成を父母に対する直接助成として実施す
る考え及び特に低所得層対策として直接助成
に踏み切る考え、私学助成の請願署名増に対
しての受けとめ方について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があっ
て、総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経
過報告について、分科委員長に一任されたい
旨をはかり、異議なく決定。

第2分科会

○12月22日（木） 午後5時17分、第2委員会室
において開議、午後5時25分
散会

第2分科委員長

山口 眞人（自民）

正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に山口
眞人委員（自民）、分科副委員長に関根建二
委員（社会）をそれぞれ選出。

② 付託案件の審査日程、質疑方法等について
協議決定した。

③ 本分科会の運営方法について、自民、社

会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び
その協議により行うことをはかり、異議なく
決定。理事には、木本由孝委員（自民）、大
島一郎委員（社会）、木下一見委員（道政）
及び相沢武彦委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、そ
の都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとす
ることに決定。

○12月23日（金） 午前10時20分、第2委員会室
において開議、午後2時57分
散会

第2分科委員長

山口 眞人（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

岩瀬 正人委員（自民）から、

道営競馬に関し、58年度の収支状況と収支
の改善策、赤字の原因、開催時期について検
討する必要性、競馬場の使用料と算定方法、
道営競馬に従事している職員数及び労働条
件、59年度における収支改善対策と58年度の
赤字の処理方法、市町村との一部事務組合方
式により競馬を開催することに対する見解、
門別トレーニングセンターの設置目的、第2
期工事による厩舎関係者の居住の見通し、今
後の道営競馬の運営改善に対する決意等につ
いて

伊藤 弘委員（自民）から、

モチ米の生産に関し、モチ米の最近におけ
る全国的な需給動向、本道における今年の生
産量と全国シェア、モチ米の生産に対する基
本方針、農業の発展方策における工夫をこら
した米づくりを目指す地帯とモチ米の作付け
状況、本年のモチ米の規格ごとの出荷量及び
規格外米の数量、良質のモチ米生産のための
指導と品種開発に対する取り組み、他用途利
用米の支庁別配分の基本的考え方、モチ米の
消費拡大に対する積極的な取り組み方等につ
いて

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があっ
て、農務部及び農地開発部所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、大橋晃議員（共産）の

本分科会への出席及び住宅都市部所管に対する発言の申し出についてはかり、異議なく許可することに決定の後、

大橋 見議員（共産）から、

北広島団地の熱供給事業に関し、熱料金改定提案の理由、燃料費の見積り等の妥当性、熱供給会社への道からの低利融資打ち切りと料金改定との関連、団地の熱供給区域内における住宅建設の遅れと熱供給料金への影響、道営住宅における低所得者に対する特別措置を検討する考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 土木部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

土石流災害に関し、本道における土石流災害の発生状況とその特徴、土石流の発生要因、土石流の危険渓流の把握状況、土石流対策事業の現状と今後の計画、避難体制等に対する道の取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって土木部及び商工観光部所管に対する質疑を終結。

○12月24日（土） 午前10時12分、第2委員会室
において開議、午後零時閉会
第2分科委員長

山口 真人（自民）

① 労働部所管に対する質疑に入り、

生駒 隆介委員（自民）から、

婦人の雇用問題に関し、北海道婦人行動計画の推進方策、雇用における男女平等の立法化に係る問題点、婦人少年問題審議会における審議状況、本問題に対する啓発活動の取り組み状況、婦人の雇用対策の具体的内容、職業安定所における婦人の職業紹介・相談状況、パートタイマーの職業紹介状況、パートバンクの利用状況、婦人就業援助センターにおける業務取扱状況、婦人就業援助相談員の拡大配置について検討する考え、職業訓練校における女子の訓練体制と拡充整備の必要性等について

相沢 武彦委員（公明）から、

季節労働者対策に関し、季節労働者を取り巻く社会情勢に対する認識、本道の季節労働

者の実態把握状況及び今冬期の具体的な就労対策、冬期雇用安定奨励金制度及び冬期職業講習助成給付金制度の内容と運用のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

小田部 善治委員（自民）から、

水産加工業に関し、本道の工業出荷額及び食料品製造業の総生産に占める水産加工業の割合、200海里漁業水域の設定後における本道の漁業生産高の推移と加工のための原魚の供給状況、水産加工業の経営体数及び収支状況、今後の水産加工業の振興ビジョン及び具体的な施策の内容、加工新製品の開発及び新技術の開発研究に対する取り組み姿勢、水産加工業の経営体質の強化策、施設の合理化・近代化に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部、林務部及び教育委員会所管に対する質疑を終結。

③ 付託案件の審査経過に関する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○12月26日（月） 午後零時20分、第1委員会室
において開議、午後零時28分
閉会

委員長 岩崎 守男（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 委員長から、議案第1号ないし第9号、第25号ないし第34号は原案可決、報告第1号は承認議決とすることについてはかり、異議なく決定。

③ 委員長から、付託案件に対する審査報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

第4回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
村を町とする処分に伴う関係条例の整備に関する条例	※ 11. 26 (専決処分)	11. 28	北海道条例第29号
北海道公共下水道事業特別会計条例	12. 26	12. 27	北海道条例第30号
北海道立職業訓練校条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第31号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第32号
北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第33号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第34号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第35号
北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号

※条例第29号は11月26日専決処分、12月15日報告。

12 月 の メ モ

- 1 日 ○第3回 アジア バレーボール 男子 選手権
で、日本は中国を破り、二度目の優勝。
ロサンゼルス五輪の出場権を獲得した。
○道は来春から全道的なスパイクタイヤの
使用規制に踏み切るが、その実施要綱案
がまとめられた。
- 2 日 ○自治省が発表した9月2日現在の選挙人
名簿登録者(有権者)数の概要によると、
衆院議員1人当たりの有権者数は、最高
の千葉4区が最低の兵庫5区に対して
4.38倍(昨年同期の格差は4.24倍)に達
した。
- 3 日 ○第37回総選挙が公示された。全国130選
挙区、総定数511人に対し、848人が立
候補。戦後2番目の少数激戦となる。
道内5選挙区は予想された35人が立候
補届け出を終えた。
- 4 日 ○第18回福岡国際マラソン選手権大会で、
瀬古利彦(27歳)が2時間8分52秒で優
勝。3,4位に入った宗茂、猛兄弟とと
もに、来年のロサンゼルス五輪代表を確
実にした。
- 5 日 ○文部省が、公立小、中学校における問題
児童生徒の出席停止措置に関する指導基
準を全国都道府県教育委員会に通達。
- 7 日 ○マドリードのバラハス国際空港で、濃霧
の中を離陸しようとしたスペインのイベ
リア航空機と滑走路を横切ろうとした同
国内線のアビアコ航空機が衝突、両機の
乗客、乗員計135人のうち93人が死亡し
た。日本人は34人が死亡、生存者は6
人。
- 8 日 ○美唄市内でもれたフロバングスが爆発炎
上して農家が焼け5人が焼死。
- 9 日 ○ラングーン地裁の特別法廷は、韓国閣僚
らに対する爆弾テロで朝鮮民主主義人民
共和国(北朝鮮)特殊工作員のジン・モ
少佐とカン・ミンチョル大尉に、殺人な
どで死刑を言い渡した。
○道は、組織機構改革で国際交流課新設、
「一村一品運動」の窓口を総務部地方振

興室とするなどの原案を固め、全道庁労
組と交渉に入った。

- 11 日 ○第32回全日本相撲選手権で、新宮高校の
久島啓太が高校生として史上初のアマ横
綱となる。
○バングラデシュのエルシアド戒厳司令官
は、兼任のまま大統領に就任。
- 12 日 ○クウェートの米国、フランス両大使館な
ど6か所で爆弾テロ事件が発生、5人死
亡、負傷者は54人を超えた。
- 15 日 ○第4回定例道議会開会。
○米ホワイトハウスは趙紫陽中国首相が来
年1月、米国を訪問、首脳会談を行うと
発表。
- 16 日 ○北海道アイヌ古式舞踊連合保存会の「ア
イヌ古式舞踊」が、文化財保護審議会の
答申で国の重要無形民俗文化財に指定さ
れる。
- 17 日 ○ロンドンの一流百貨店ハロッズの前で爆
弾のテロが起き、9人が死亡、75人が負
傷した。ロンドン警視庁はアイルランド
共和国軍の犯行と断定。
- 18 日 ○総選挙の投票率は、全国平均で戦後最低
の67.94パーセント。開票の結果、自民
党公認(党籍証明を含む)は過半数を割
る250議席にとどまり大幅に後退。
道内5選挙区では、自民9、社会10、
公明、民社、無所属各1という新分野が
決まった。自民は1減、社会は全員当
選。
- 21 日 ○国の特別天然記念物タンチョウの一斉調
査で、道教委は過去最高の345羽の生息
確認と発表。
- 22 日 ○ペイルートのフランス軍連隊本部前と市
内のホテルで爆弾事件が発生、14人が死
亡、約50人が負傷。
○北電の泊原発1、2号機建設計画につい
て地元住民らの意見、要望を聞く原子力
安全委員会主催の第2次公開ヒアリング
が後志管内泊村で始まった。
- 23 日 ○農林水産省の発表によると、58年産水稻
の最終作況指数は「やや不良」の96(平
年が100)で、4年連続の不作が確定。
北海道が異常低温などで74となったこと

などが原因。

24日 ○モスクワで行われていた日ソ漁業交渉は合意に達した。内容は日本側の84年総漁獲量は70万トン、前年比5万トン減。

26日 ○第4回定例道議会閉会。

○自民党と新自由クラブは、政治倫理確立など4項目の政策協定を結び、国会内統一会派「自民党・新自由国民連合」の結成に合意した。

○第二次中曽根内閣が発足。

27日 ○米国の中西部から南部諸州にも広がっている寒波で、凍結した道路での交通事故死や凍死など全米の死者は308人に上った。

○道生活環境部は、洞爺湖の中島の森林被害を防ぐため同島のエゾシカの半数以上を生け捕り、生息数を調整する方針を決めた。

28日 ○米国は、国連教育科学文化機関（ユネスコ）本部に対し、85年1月1日付で脱退すると通告。

○米国政府は水産庁に対し、米国200カイリ内の59年第1期（1～6月）の対日漁獲割当量を前年同期に比べ15パーセント減、48万6,000トンとすると通告。

30日 ○西独に搬入された米国製新型中距離核ミサイル、パーシングⅡが実戦配備について。

北海道議会時報 昭和58年第7号

昭和59年3月22日発行（通巻第35巻第8号）

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第35巻第8号（昭和58年第4回定例会）